



## 建築技術性能証明書

技術名称：JP-Pile 工法  
—先端翼付き回転貫入ぐい工法—

申込者：ジャパンパイル株式会社 代表取締役 黒瀬 修介  
東京都中央区日本橋箱崎町 36 番 2 号

技術概要：本技術は、鋼管の先端に、掘削刃と角度を設けた 2 枚の半円状の先端翼板を取り付けた鋼管の頭部に回転トルクを与えることにより地盤中に回転貫入させ、これをくいとして利用する回転貫入ぐい工法である。

なお、本工法の地盤から定まる押込み方向の許容鉛直支持力については、国土交通大臣の認定：TACP-0689 および一般財団法人日本建築総合試験所の性能評価：GBRC 建評-24-231A-001 を取得しており、この性能証明は、本技術により設計・施工されたいの地盤から定まる引抜き方向の支持力の評価に関するものである。

開発趣旨：本技術は、先端翼径/ぐい径を 2.04~2.43 に設定することで適切な引抜き抵抗を確保するとともに、くい先端に掘削刃と 2 枚の半円状の先端翼を設けることで、貫入性の向上を意図して開発した技術である。

当法人の建築技術認証・証明事業 業務規程に基づき、上記の性能証明対象技術の性能について、下記の通り証明する。

2024 年 10 月 9 日 一般財団法人 日本建築総合試験所  
理事長 黒瀬 博



記

証明方法：申込者より提出された下記の資料および引抜き試験の立会確認により性能証明を行った。

- 資料 1：JP-Pile 工法 性能証明のための説明資料
- 資料 2：JP-Pile 工法 設計基準
- 資料 3：JP-Pile 工法 施工指針
- 資料 4：引抜き試験資料

資料 1 には、本技術の目標性能達成の妥当性を確認した説明資料がまとめられている。  
資料 2 は、本技術の設計基準であり、支持力算定式などの設計方法が示されている。  
資料 3 は、本技術の施工指針であり、施工方法および施工管理項目などが示されている。  
資料 4 には、資料 1 で用いた個々の引抜き試験結果報告書や立会引抜き試験報告書などが取りまとめられている。

証明内容：本技術についての性能証明の内容は、単ぐいとしての引抜き方向の支持力についてのみを対象としており、以下の通りである。

申込者が提案する「JP-Pile 工法 設計基準」および「JP-Pile 工法 施工指針」に基づいて設計・施工された先端翼付き鋼管ぐいの短期荷重に対する引抜き方向の許容支持力を定める際に必要な地盤から定まる極限引抜き抵抗力は、同設計基準に定める支持力算定式で適切に評価できる。